

# 未来へ新たな決意!!

# 美浦村成人式



一生に一度の記念撮影です



式典はおぞそがに進められました



開式の辞 山口康平さん(下丸子)



閉式の辞 川崎 司さん(信太)



君が代伴奏 小西孝賢さん(土屋)



久しぶりの再会に話が弾む新成人の皆さん

1月12日、中央公民館で平成26年美浦村成人式典が開催されました。今年、晴れの門出を迎えた新成人は213名(男性118名・女性95名)。このうち式典に参加した156名は旧友たちと再会し、お互いの成長した姿に驚き、喜び、現在の生活等を確認し合う等、旧交を温めながら互いに大人の仲間入りを祝いました。式典では、中島村長が「決して平坦な道ばかりではなく様々な障害や挫折があるかもしれませんが、青春は一度しかありません。様々なことにぜひトライしてください。目標を高く、情熱を持って社会に羽ばたき、ふるさと美浦村の明るい未来を築いてくださるよう、ご期待申し上げます。」と新成人の皆さんに激励の言葉を贈りました。また、来賓や中学校時代の恩師からのお祝いの言葉に、新成人の皆さんは改めて大人としての自覚と責任をかみしめているようでした。

## 新成人の主張

新成人3名が式典で意見発表を行いました。



金子拓矢さん(大山)

本日は、私達新成人のためにこのような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。中学校を卒業して早5年の月日が流れ、私達は新成人と呼ばれる立場になりました。職に就く者、学問に励む者、立っている場所は違っても、それぞれの経験に伴った自分なりの思いを持ってきたはずです。私も自分を見つめ直すきっかけとなった生涯忘れることのない出来事があります。それが一昨々年の東日本大震災です。私は震災後に被災地を訪れ、あるはずの家がなく延々と更地が広がっている光景を目にしたとき、初めて震災というものを知ったように感じました。それから、毎日の中で「生きる」ということ、「自分という1人の人間」について、その他様々なことに思いを巡らせ見えてきたものは、「日々の中で思いを伝えるということとためらっている自分」でした。だからこそ成人となった今、「思いを言葉で、行動で表せる人間」になることが自分の大人への第一歩だと思います。今この場で伝えたい思い、それは「感謝」です。自分が成人という一つの節目を迎えることができた背景には、多くの方々の支えがありました。自分を産み育ててくれた両親、いつもそばで見守ってくれた祖父母、面倒を見てくれた先輩、慕ってくれた後輩、自分を強い人間に育ててくれた少年野球の監督・コーチ、ここにいる友人とお世話になった先生方、その他にも数え切れない程の人の支えがあって自分がこの日を迎えることができたという「感謝」を心から伝えたいです。成人となった私達には多くの権利、自由が与えられ、同時に責任という見えない義務が生じてきます。その意味を理解した上で、一步一步着実に今を歩んでいこうと思います。まだまだ若輩者の私達ですが、今後ともご指導の程よろしくお願いたします。



中嶋千紘さん(宮地)

本日は、私達のために盛大な式典を開いていただき、ありがとうございます。卒業して早5年、久しぶりに会う旧友は綺麗になっていたり遅くなっていたり、私は圧倒されました。でも、根本は変わっておらず、中学生のときのように楽しくお話しすることができ、とても嬉しく、当時は思い出しても懐かしく思います。私が今、こうして無事二十歳を迎えることが出来ているのは、ここまで成長させてくれた家族、友人やお世話になった先生方、その他いろいろな方々のおかげです。私には夢があります。私の夢はビックになることです。10年以内にビックになってこの村に戻ってきますので、皆さん楽しみにしてください。これからもよろしくお願いたします。



塚本麻衣子さん(受領)

本日は、私達新成人のためにこのような式典を開いていただき、誠にありがとうございます。中学校を卒業してから5年が経ち、今振り返るととてつもなく早かったように思います。6年後のオリンピック開催地が東京に決まりましたが、その6年もあるという間に経ってしまうのでしょうか。今の世界を見ていると景気はよくないし、ただでさえ不安な就活は私達の世代から期間を短くされ、6年後どこから来年の自分の姿さえ見えないのが現状です。だから、私は一番近い明日の自分を考えるようにしています。今日の自分より明日の自分は少しでも成長できるように、その日やるべきこと等の目標を決めています。それが達成できたときには素直に喜び、そうした地道な1日1日の積み重ねが、見えない将来を徐々に明確にしてくれる気がするのです。だから私は今日という日を、明日という日を大切に生きていきたいと思っています。自分には今、夢があります。1日を積み上げていったその先にいる自分がその夢を実現した姿であるように、私は努力していきたいです。最後に、そんな私の1日1日を支えてくれた大切な家族、先生方、友達、そして、今この場にいらっしゃる皆様への感謝の言葉を述べさせていただきます。20年間ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。

## 成人者代表謝辞



岡本良太さん(受領)

本日は、私達のためにこのような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。皆様からお祝いや激励のお言葉をいただき、身の引き締まる想いです。私達はこれまで、家族はもちろん、小中学校の先生や多くの地域の皆様に成長を見守っていただき、この日を迎えることが出来ました。成人となる今、私達は社会の出来事をより身近に、より多くの視点から真剣に考えなくてはなりません。東日本大震災からは間もなく3年が経ちますが、今も約29万人もの人々が避難生活を余儀なくされています。私たちに出来ることは何でしょうか。すでに実社会で働いている者、学業・部活動に励んでいる者、置かれた立場に違いはありますが、各々が選んだ道で夢や目標・責任を持ち、自分を見失わず日々努力し歩いていくことで、少しでも社会にお返ししていきたいと思えます。私達は皆、今日を心待ちにしております。かけがえのない故郷、美浦で成人を迎えられることを幸せに、そして誇りに思います。東京オリンピック開催までには柳のように折れない心の強さ、柔軟さを手に入れ、社会に貢献できる人間になりたいです。まだまだ未熟な私達ですので、ご指導をよろしくお願いたします。本日は本当にありがとうございました。

※紙面の都合上、『新成人の主張』『成人者代表謝辞』は抜粋とさせていただきます。